



## 一貫部6年生・高等部3年生へ

### 『最後まで諦めず頑張れ。燃えろ安田魂！』

本年度から大学入試センター試験が「大学入学共通テスト」となり、1月16日（土）・17日（日）に本校の一貫部6年生・高等部3年生も今までの積み重ねてきた実力を発揮すべく挑戦してきました。18日（月）に自己採点、そして19日（火）からは、私立大学の一般試験や国公立大学の2次試験対策のための直前演習が行われています。最後まで実力を発揮できるよう全力で取り組んで欲しいと思います。今回の大学入学共通テストから「知識」だけではなく、「思考力・判断力・表現力」が求められる試験ということで、出題形式が変わった点が多くありました。一問一答形式のものはほとんどなく、各設問には小説のようにストーリーがあり、情報を集めて答えを求めていくものです。普段の授業の取り組みが大切なのは間違いないようです。

一貫部6年生・高等部3年生には、15日（金）の結団式の時に、「最後の最後まで頑張る・諦めないことが大事であり、最後まで諦めずに頑張った人にしか分からないことや得られないものがあります。全てをこのこと（受験）だけに集中できる（時間を掛ける）ことはそうありません。それが人生の糧（かて）になります。そして平常心を持って試験に臨んで欲しい。最後は精神力だと思います。学習合宿・放課後進学講座や模試演習など、いろいろなことを我慢して努力を積み重ね、精神力は鍛えられているので、6年間もしくは3年間の日頃の成果を十分に発揮して、今まで頑張ってきた自分を信じて全力で挑んでください」と話をしました。

受験生にとっても、その家族にとっても、年末年始とコロナ禍や再度の緊急事態宣言と重なり、通常の受験生以上に健康管理などに気を遣い、とても大変だと思います。でも、まだまだこれからが勝負です。最後まで全力で受験に立ち向かって、自分自身で納得のいくところまでやりきって欲しいと思います。

一貫部6年生・高等部3年生以外の在校生は、先輩の頑張りをよく見てください。みなさんも同じレベルで努力できるようになるはずです。

#### <大学受験昔話>

私が大学受験した当時は（約40年前）、携帯電話はなく、当然ネットでの発表もなく合否の結果は大学が校内で掲示するものしかありませんでした。地方からの受験者は結果だけを見に来るのは大きな負担でした。そこで結果を電報でおくる大学生のアルバイトがありました。一般的には合格者には「サクサク：桜咲く」ですが、大学によっても特色があり、ちなみに東京大学は「アカモンヒラク：赤門開く」だったそうです。安田生に「サクサク」ことを祈っています！

校長 稲村 隆雄



2013年2月  
春の甲子園出場が  
決まり生徒で作った  
人文字です。